

# 平成24年度 第2回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議

日 時:平成24年12月26日(水)  
19:00~20:50

場 所:ピュアリティまきび 「飛鳥」

## 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 岡山県急性心筋梗塞医療連携クリティカルパス素案の検討について

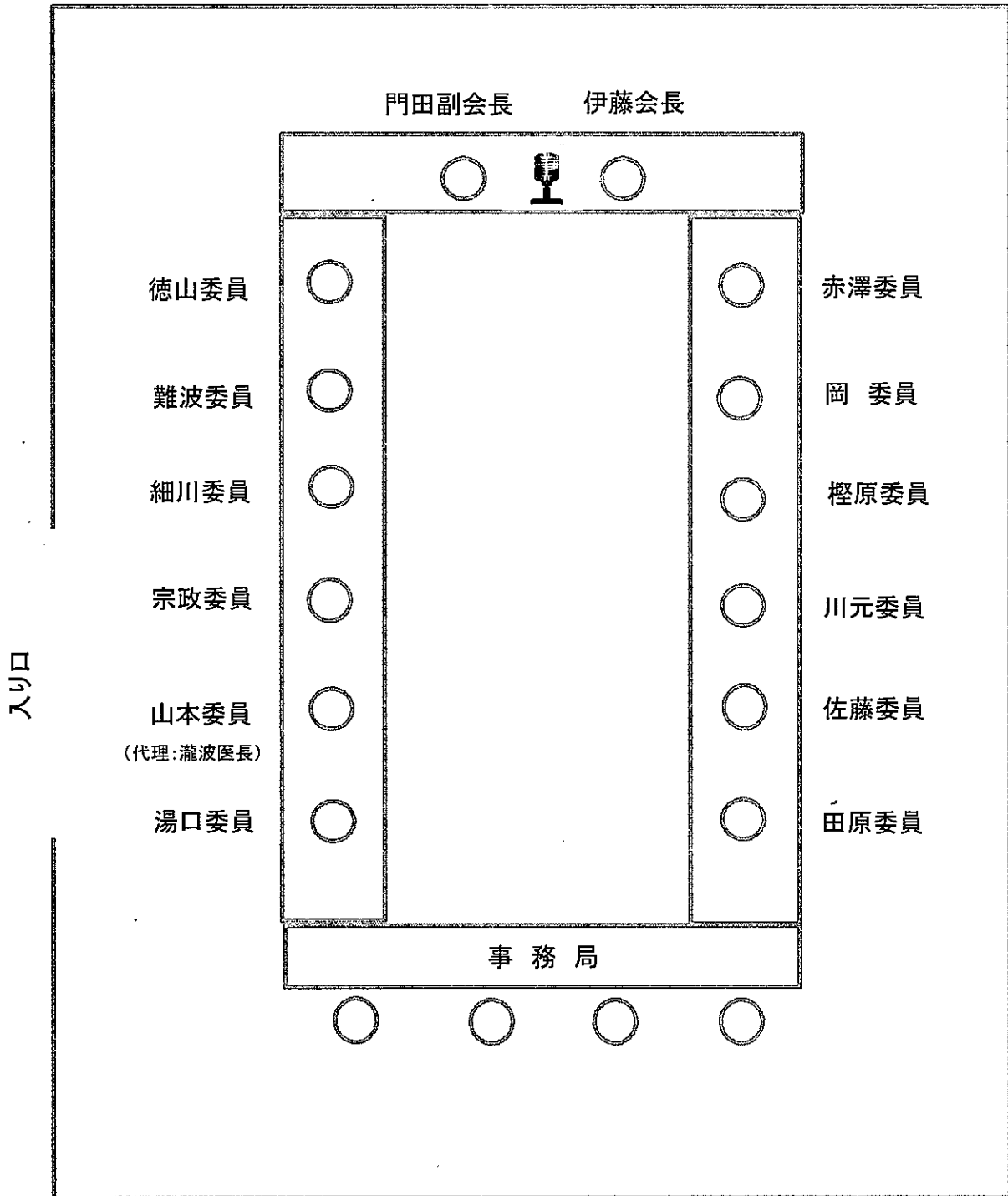
(2) その他

4 閉 会

# 平成24年度 第2回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 席表

日時:平成24年12月26日(水)19:00~20:50

場所:ピュアリティまきび 3階「飛鳥」



第2回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 出席者名簿

(委員)

所 属・職 名	氏 名	備 考
岡山県薬剤師会副会長	赤 澤 昌 樹	
岡山大学病院 循環器内科 教授	伊 藤 浩	
津山中央病院 循環器科部長	岡 岳 文	
岡山県看護協会 常務	檜 原 美恵子	
倉敷中央病院心臓病センター 循環器内科 主任部長	門 田 一 繁	
川崎医科大学附属病院 循環器内科 医長	川 元 隆 弘	
総合病院岡山赤十字病院 循環器内科部長	佐 藤 哲 也	
日本健康運動指導士会 岡山県支部長	田 原 秀 二	
岡山県医師会 理事	道 明 道 弘	欠席
岡山県真庭保健所 所長	徳 山 雅 之	
岡山県病院協会 理事	難 波 義 夫	
国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	細 川 優	
国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	宗 政 充	
心臓病センター榊原病院 循環器内科医長	瀧 波 裕 之	山本桂三委員の代理
岡山県理学療法士会	湯 口 聡	

(五十音順)

(事務局)

所 属・職 名	氏 名	備 考
岡山県保健福祉部医療推進課 課長	二 宮 忠 矢	
岡山県保健福祉部医療推進課 総括副参事	津 島 孝 志	
岡山県保健福祉部医療推進課 副参事	井 上 五 月	
岡山県保健福祉部医療推進課 主幹	富 田 辰 郎	

## 岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議設置要綱

### (目的)

第1条 岡山県保健医療計画に基づき、急性心筋梗塞の急性期・回復期・在宅等における継続的な診療や服薬、運動等の生活指導など、患者が安心できる生活を支援するため、心筋梗塞医療等に関わる多職種協働による医療提供体制を整備することを目的とした、岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 検討会議は、急性心筋梗塞の医療に係る次の事項について協議する。

- (1) 地域連携クリティカルパスに関すること。
- (2) 疾病の経過等に応じて医療機関に求められる医療機能等の具体的な要件に関すること。
- (3) 連携の推進状況を把握するための指標（目標とする指標を含む。）に関すること。
- (4) その他急性心筋梗塞の医療推進に必要な事項。

### (組織)

第3条 検討会議は、委員17名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、消防関係者等で構成する。

### (会長及び副会長)

第4条 検討会議に、会長1名及び副会長1名を置き、委員の中から互選する。

2 会長は、検討会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

### (任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

### (会議)

第6条 検討会議の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

### (部会)

第7条 検討会議は、必要に応じて、部会を設置することができる。

### (意見の聴取)

第8条 検討会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明を受け、又は意見を聴くことができる。

### (庶務)

第9条 検討会議の庶務は、岡山県保健福祉部医療推進課において処理する。

### (雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成22年1月20日から施行する。

この要綱は、平成24年7月 2日から施行する。

## 岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 委員名簿

氏名	所属・職名	備考
赤澤昌樹	岡山県薬剤師会副会長	岡山県薬剤師会推薦
伊藤浩	岡山大学病院 循環器内科 教授	県南東部主要病院
岡岳文	津山中央病院 循環器科部長	県北部主要病院
檜原美恵子	岡山県看護協会 常務	岡山県看護協会推薦
門田一繁	倉敷中央病院心臓病センター 循環器内科 主任部長	県南西部主要病院
川元隆弘	川崎医科大学附属病院 循環器内科 医長	県南西部主要病院
佐藤哲也	総合病院岡山赤十字病院 循環器内科部長	県南東部主要病院
田原秀二	日本健康運動指導士会 岡山県支部長	日本健康運動指導士会 岡山県支部推薦
道明道弘	岡山県医師会 理事	岡山県医師会推薦
徳山雅之	岡山県真庭保健所 所長	岡山県保健所長会推薦
難波義夫	岡山県病院協会 理事	岡山県病院協会推薦
細川優	国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	岡山県栄養士会推薦
宗政充	国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	県南東部主要病院
山本桂三	心臓病センター榊原病院 副院長	県南東部主要病院
湯口聡	岡山県理学療法士会	岡山県理学療法士会推薦

(五十音順)

## パス作成の基本方針について

(ワーキング委員の意見より)

○「運用規程」を定める。

<関連意見等>

- ・ どういう運用をしていくのか、というところは必要。
- ・ 最終目標は、良質な医療を提供し、その悪化防止をしていくということなので、そういう意味では幅広い対応が必要。委員の意見を聞いて、まずここからスタートしていくというのを決めればいい。
- ・ まずはスタンダードなものから始めて、最終目標は死亡率に特に大きな影響を与えている高齢者層、介護型に移ってから在宅になるような階層に対するものも作っていかないといけない。そこを最終目標に置くべき。
- ・ かかりつけ医や地域の病院のドクターにわかりやすいパスがいいので、例えば入院が続く人に対してのパスは、今のところ考えなくてもいいのでは。
- ・ どこが一番死亡率に影響しているかと言えば、やはり 70 歳以上の高齢者で、PCIのできないような群。最終目標はそこにせよ、まずはスタンダードな、70 歳以上でも通常の治療でいける方のものから始めればどうか。
- ・ アウトカムは、結果的に患者さんが自分の状態をコントロールできて、例えば何か異常があった場合に受診するとか、そういうのが多分アウトカムになる。
- ・ スタンダードなものをやっていく中で、またバリエーションは出てくるが、現段階ではそこまで考える必要は無い。

○「心臓リハビリテーション（運動指導を含む）」を意識する。

<関連意見等>

- ・ 岡山県で心臓リハビリテーションができる施設は、増えてきてはいる。  
リハビリに通えないような遠方の人に対し、近くの運動施設で何とかしてあげられないかというのが目標。そこをパスに入れたいという気持ちはある。
- ・ 時系列のパスで、特にスタンダードな場合には難しいのではという感覚がある。  
患者は元気で、治ったと思っているので、2次予防とか危険因子の改善をしなかったりするところを、パスで管理するのは難しい。
- ・ 発作が起こる前後で生活習慣を変えていくのに、それを続けるにはどうしたらいいのかというのがパスの主題だと思う。例えば「目標」を作って、達成できたかどうかをチェックしていく形はどうか。
- ・ 「採血」はいつ頃するか、というのをに入れて欲しい。やはり運動をしていて、何でフィードバックするかというと、危険因子がどの程度コントロールできているか、それは採血というのが大きな目安である。
- ・ どこの施設に行っても、この運動の強さでやればいいんだというのが一貫してわかるような形をとればいいのかと思う。

○ 「双方向」であること。

<関連意見等>

- ・ (パスを) つけない患者には大きく2通りあって、まずかかりつけの先生が時期を忘れている場合、もう一つは薬だけ取りに行って、診察を受けてない場合。そういう人にとっては「目安」を提供してあげれば、漏れがなく評価ができる。
- ・ つける人は日記のようにつけている。患者が魅力的につけられるような工夫があれば、自己管理型の医療になる。
- ・ 結局は生活習慣の改善ということ。私のところでは「健康手帳」というのがあって、基本的には食事と運動に関して自分で具体的な「目標」を立てて、毎日達成できたかどうかという形で○、×、△をつけていく仕組み。うまく機能している。
- ・ 体重、血圧等はグラフ化するほうが目に見えてわかりやすい、あとはやはり「励まし」が重要。
- ・ 違う施設に行っても、要はこの運動でやればいいんだな、ということが共有できる形が理想である。
- ・ 検査データを貼れるようにすれば、先生の手間を省けるのではないか。

○ 「適用期間」を定める。

<関連意見等>

- ・ エンドラインをどうするかは重要。そういう意味でも「双方向」というのをどこまで想定しているのかを考える必要はある。
- ・ 保険診療期間までにするのか、任意で延ばすのか、任意で延ばす場合はいつまでの期間にするのか、そういうところもやはり必要ではないか。
- ・ パスを作る際には、どの程度の期間のパスにするかを最初に考える。病院によってカテ、フォローの時期は違うし、病院の中でも医者ごとに違うという話もある。最初の半年位は、フォローアップのカテをすと思うので、最初のフォローアップまでのパスをまず策定し、今後のことを明確に具体的に書くようにする。  
いつまでフォローアップ期間としてパスに組み込むか、それが算定されたときに特に重要なのではと思う。
- ・ バリエーションをどうするのか。パスを策定した医療機関に相談してくださいとか、病院に通えなくなったら脱落とか。

○ 「標準ガイドライン」的な内容を記載する。

<関連意見等>

- ・ オーバービュー的なものを患者に示してあげれば、安心感はあるだろうと思う。
- ・ 患者が「今後こうなるんだなあ」みたいなことがわかるような内容が記載されてもいいと思う。
- ・ 最低限こういうことが必要という、モデル的なケースは示してもいい。
- ・ かかりつけの先生に対し、一般的にコンセンサスが得られているのはこういうことなんですよという、何か情報を入れられればいい。

○ その他（予算、診療報酬など）

- ・ 将来算定された場合でも使えるような内容にする。
- ・ 脳卒中のパス等も参考に、どういう要件が必要になるかという検討が必要。
- ・ 算定されれば別だが、当面県主導でいくのなら、今後の予算を考えながら進めていく必要がある。
- ・ 節約するのなら、心リハの既存のパスをベースにして、それに運動処方や体重表など、必要なものをプラスして運用するのが現実的に簡単かなと思う。
- ・ 改訂等があると、「冊子」だとお金が要る。例えば加除式のバインダーみたいにして、改訂箇所だけ差し替えできるようにすれば、最初のコストはかかっても、継続予算は改善部分だけになる。  
また検査結果等をノートに貼り付けると分厚くなるが、加除式のファイルであれば、少し分厚くなっても対応できる。
- ・ 岡山県では、15カ所程はカテをしてる病院があると思う。そういうところには是非参加していただけるよう働きかける。



「急性心筋梗塞」医療関連スケジュール（案）

	今後の予定等
平成 24 年 12 月	<p><u>第 2 回検討会議の開催 (12 月 26 日 ピュアリティまきび)</u></p> <p>① 岡山県急性心筋梗塞医療連携クリティカルパス素案の検討 ② 普及啓発方法の検討 等</p>
平成 25 年 1 月～ 2 月  -----  3 月	<p><u>医療従事管理者向け説明会（仮）の開催</u></p> <p>①参集範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県保健医療計画に基づく届出医療機関 （急性期、回復期、再発予防）</li> <li>・検討会議構成団体（医師会、病院協会、薬剤師会等）</li> <li>・各保健所担当者 等</li> </ul> <p>②内容</p> <p>(1) 講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 急性心筋梗塞の医療の方向性について (〇〇先生)</li> <li>○ 医療連携パスの運用について (〇〇先生)</li> </ul> <p>(2) 登録医療機関の募集</p> <p>(3) 必要部数の調査</p> <p>&lt;パス印刷&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録医療機関にパス配布</li> </ul>
4 月以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パス運用開始 (4 月～)</li> </ul> <p><u>検討会議の開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研修会の開催について (備前、備中、美作)</li> <li>② 県民フォーラムの開催について (県北、県南西部)</li> <li>③ 届出医療機関からの報告様式の検討について</li> <li>④ 連携パスの運用における現状把握について 等</li> </ul>

## 岡山県保健医療計画（急性心筋梗塞の医療連携体制・医療機関一覧）

疾病の経過	医療圏	所在地	施設種別	医療機関の名称
急性期	県南東部	岡山市	病院	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
	県南東部	岡山市	病院	岡山済生会総合病院
	県南東部	岡山市	病院	総合病院岡山赤十字病院
	県南東部	岡山市	病院	岡山大学病院
	県南東部	岡山市	病院	心臓病センター 榊原病院
	県南東部	岡山市	病院	独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院
	県南東部	岡山市	診療所	医療法人岡山ハートクリニック
	県南西部	倉敷市	病院	川崎医科大学附属病院
	県南西部	倉敷市	病院	倉敷中央病院
	津山・英田	津山市	病院	津山中央病院
回復期	県南東部	岡山市	病院	医療法人 岡村一心堂病院
	県南東部	岡山市	病院	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
	県南東部	岡山市	病院	総合病院岡山赤十字病院
	県南東部	岡山市	病院	岡山大学病院
	県南東部	岡山市	病院	社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院
	県南東部	岡山市	病院	岡山医療生活協同組合 岡山東中央病院
	県南東部	岡山市	病院	心臓病センター 榊原病院
	県南東部	岡山市	診療所	医療法人 岡山ハートクリニック
再発予防	県南西部	倉敷市	病院	医療法人創和会 しげい病院
	県南東部	岡山市	病院	医療法人 岡村一心堂病院
	県南東部	岡山市	病院	財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院
	県南東部	岡山市	病院	医療法人自由会 岡山光南病院
	県南東部	岡山市	病院	岡山大学病院
	県南東部	岡山市	病院	社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院
	県南東部	岡山市	病院	心臓病センター 榊原病院
	県南東部	岡山市	診療所	医療法人成和会 粟井内科診療所
	県南東部	岡山市	診療所	医療法人 岡山ハートクリニック
	県南東部	岡山市	診療所	医療法人 せとうちクリニック
	県南東部	岡山市	診療所	医療法人清屋会 高屋クリニック
	県南東部	岡山市	診療所	谷野内科循環器科クリニック
	県南東部	岡山市	診療所	藤本循環器内科クリニック
	県南東部	玉野市	病院	医療法人社団恵誠会 大西病院
	県南東部	玉野市	診療所	医療法人 近藤医院
	県南東部	玉野市	病院	玉野三井病院
	県南東部	備前市	病院	備前市国民健康保険市立日生病院
	県南東部	瀬戸内市	病院	瀬戸内市立瀬戸内市民病院
	県南東部	瀬戸内市	診療所	医療法人仁生会 長田医院
	県南西部	倉敷市	病院	倉敷記念病院
	県南西部	倉敷市	病院	財団法人淳風会 倉敷第一病院
	県南西部	倉敷市	病院	医療法人創和会 しげい病院
	県南西部	倉敷市	病院	医療法人エム・ピー・エヌ 武田病院
	県南西部	倉敷市	診療所	医療法人和楽会 野上内科医院
	県南西部	倉敷市	診療所	八王子内科クリニック
	高梁・新見	新見市	病院	医療法人社団思誠会 渡辺病院
	高梁・新見	新見市	診療所	社会医療法人哲西会 哲西町診療所
	真庭	真庭市	病院	医療法人社団井口会 総合病院落合病院
	真庭	真庭市	病院	社会医療法人緑社会 金田病院

備考)この一覧は、医療圏順、市町村順、施設種別順、五十音順に並べています。

医療機関の詳細は情報は、おかやま医療情報ネット(<http://www.qq.pref.okayama.jp/>)で検索してください。